



1 金堂南側の礼拝石SX011と灯籠SX012台座 南西から

2 金堂南側の礼拝石SX011と灯籠SX012台座 南から



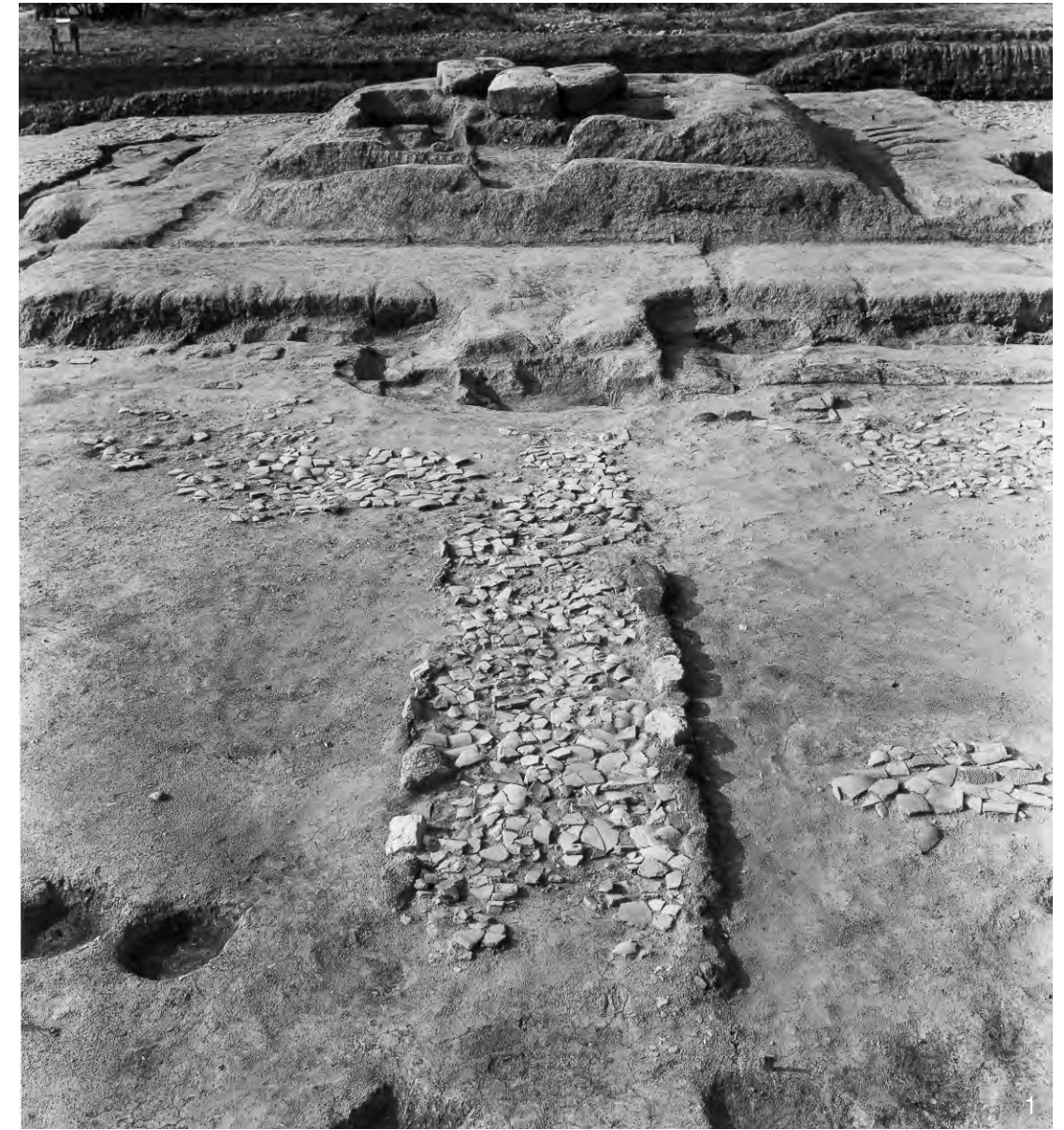
1 灯笼SX012
(基壇・台座)
西から



2 灯笼SX012
(台石露出状況)
東から



3 灯笼SX012
(後補の埽除去)
東から



1 塔南の参道SF004全景 南から 2 土坑SK006(西半部) 北から



1 土坑SK206
東から



2 暗渠SX212と
排水路SD213
北東から



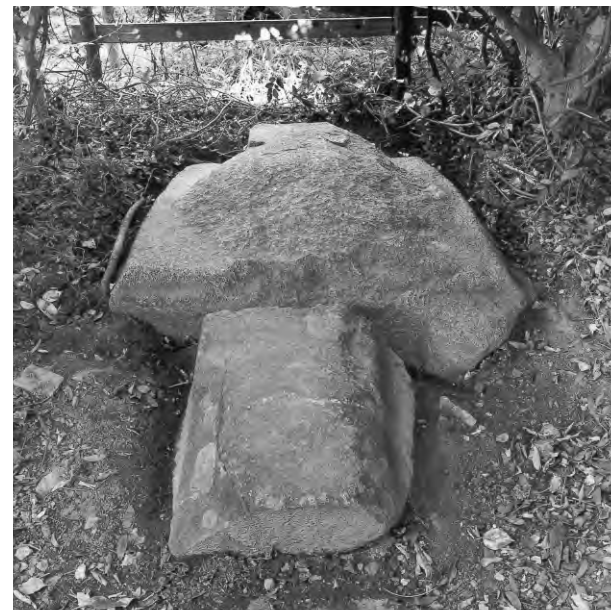
3 金堂基壇を巡る
溝SD210・211
とSX214
北西から



1 講堂東辺部の発掘状況 東南から 2 講堂礎石・地覆石(北側柱筋の中央部) 北西から



3 南側柱筋東から4個目の礎石と地覆石 西から



4 北側柱筋東から6個目の礎石と地覆石 西から

1 講堂北調査区
(西から3間目)
東から

2 講堂北調査区
(西から3間目)
北から



1 宝蔵全景
南東から



2 宝蔵基壇
断割り
北西から



3 宝蔵西の遺物(茅・瓦)



4 宝蔵西の遺物(黒漆塗り茄子形仏具)



5 宝蔵西の遺物(金銅製花形金具)

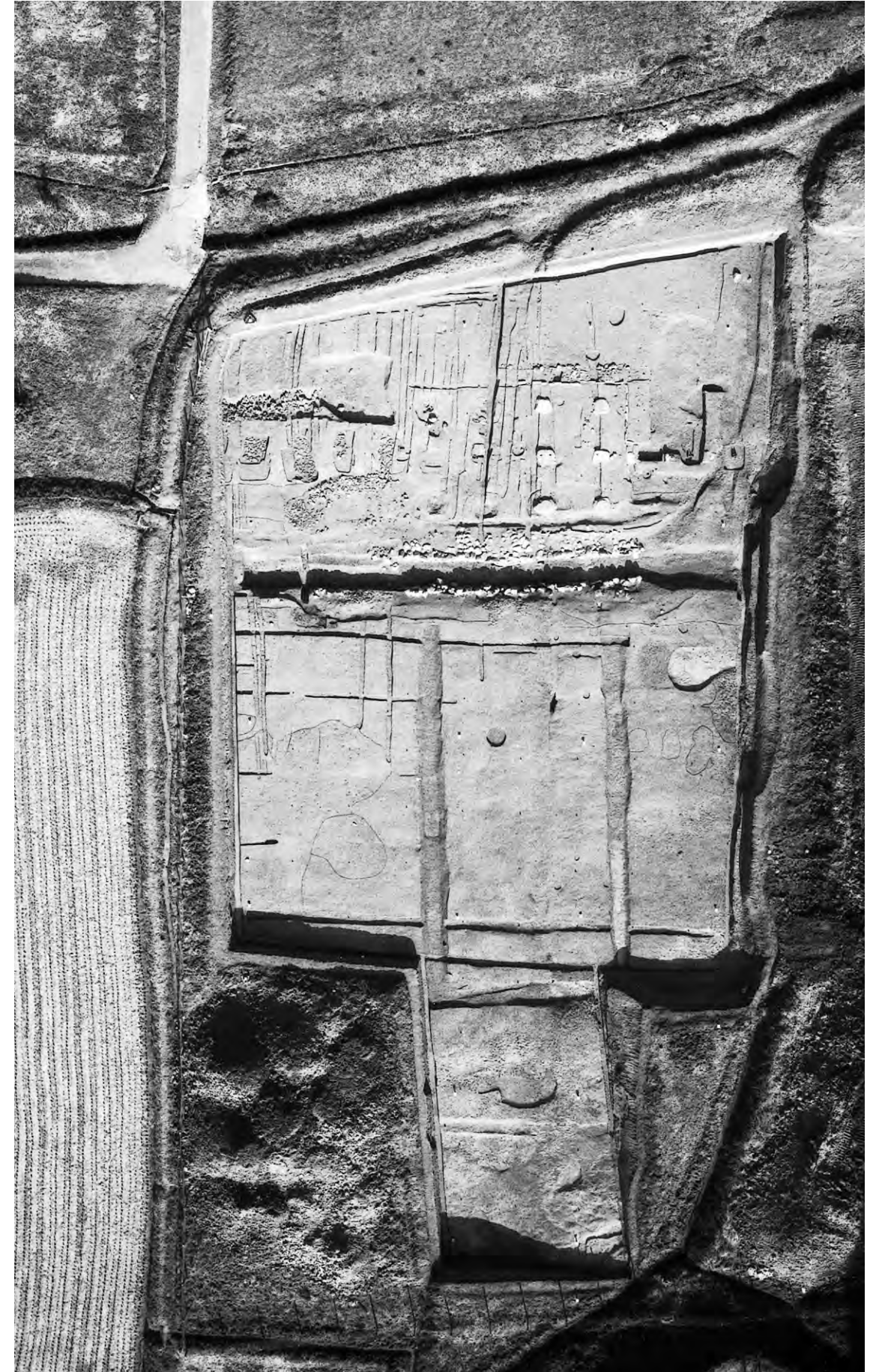


6 宝蔵西の遺物(素木八角形台座)



1 宝蔵基壇と建築部材 北から

2 宝蔵西の建築部材出土状況 北から



調査区全景(航空写真) 1:300



1 北半部全景 東から 2 南門SB001全景 北から



1 南門SB001と基幹排水路SD625B 南から 2 南門SB001 東から 3 南面大垣SA600・631 西から



1 新南面大垣SA630
 (東第2柱と根からみ)
 北西から



2 新南面大垣SA630
 (東第2柱)
 北から



3 新南面大垣SA631
 (西第4柱穴)
 東から



1 基幹排水路
 SD625B
 南東から



2 SD625Bと
 橋脚SX623
 東から



3 木橋SX622
 ・623ほか
 南から



1 SD625Bに流
れ込むSD629
東から

2 幢幡遺構
SX604・605
北から



3 木橋SX622の南西親柱 西から



4 木橋SX622の南東親柱 東から



1 SA500と基幹排水路SD530・531 北から

2 東面回廊とSA500 西から



1 東面築地SA575 北から 2 東面大垣SA500柱穴 北から 3 基幹排水路SD531 北西から



1 SA500と東面築地SA535及び宝蔵SB660 北東から 2 SA500柱穴 北から



1 SA500と東面築地SA535 西から

2 SA500Bの倒壊建築部材・瓦 北から



1 SA500Bの
建築部材
(桁・垂木ほか)
西から



2 SA500柱穴
(南から4個目)
南から



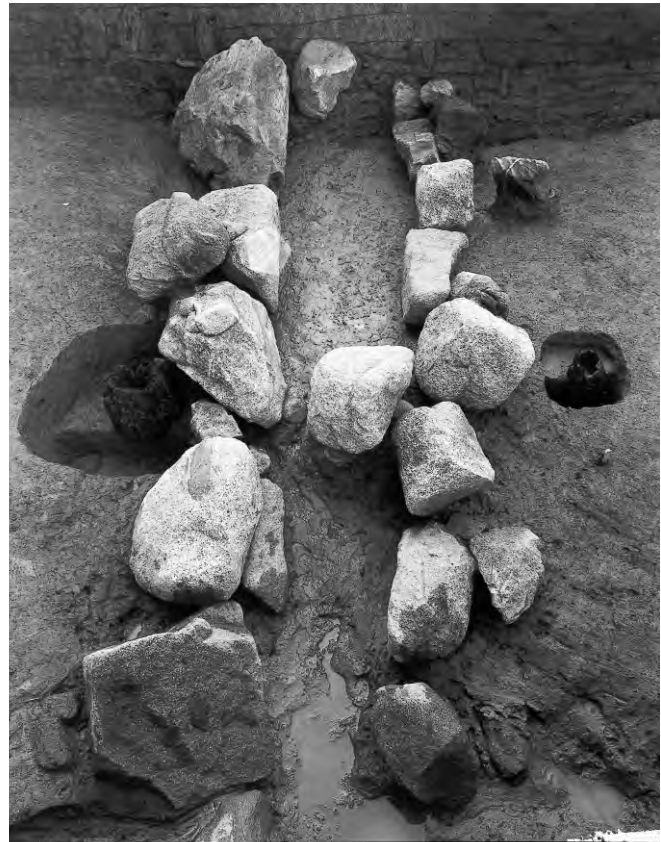
3 同上柱穴
の礎盤
南から

1 SA500と東面築地SA535 西から

2 SA500Bの倒壊建築部材・瓦 北から



1 SA570柱穴
暗渠SX573
・574ほか
西から



2 基幹排水路SD540B 北から



3 SA570B柱根(講堂北方) 南から



1 暗渠SX573・574 北から 2 同左 南から



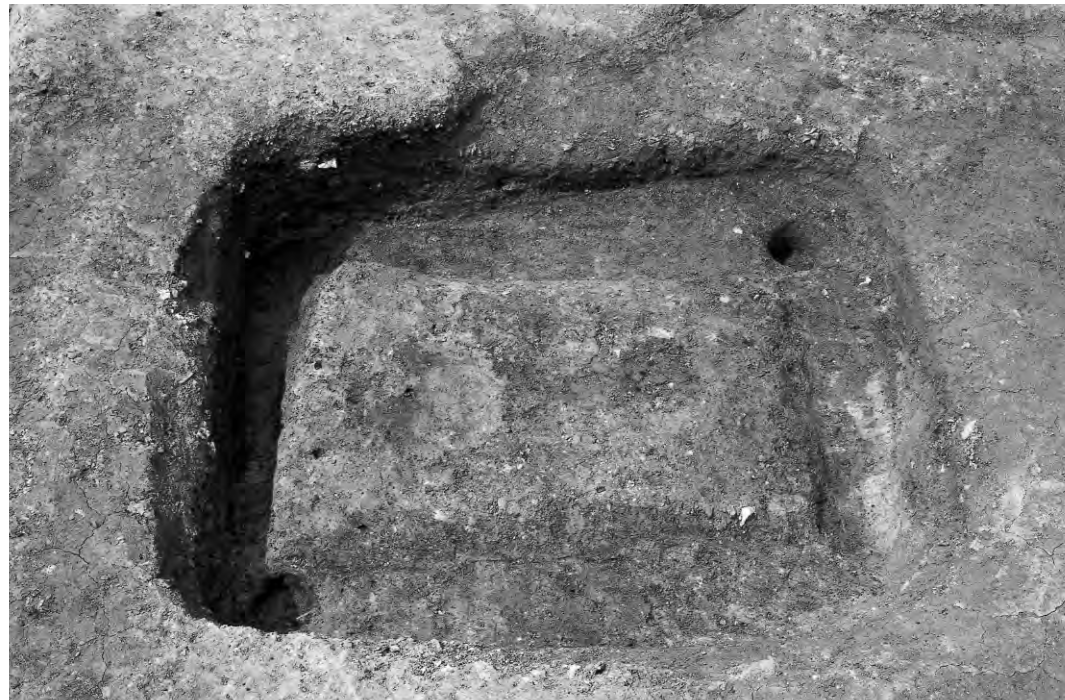
1 第8次西区全景 南から 2 同左 北から



1 「東北院」南限堀SA505ほか(第4次北区) 西から 2 同左 東から



1 7世紀前半のSD619
とSA620
(第7次)
東から



2 中世の梵鐘鑄造
遺構SK440
(第4次東区)
南から



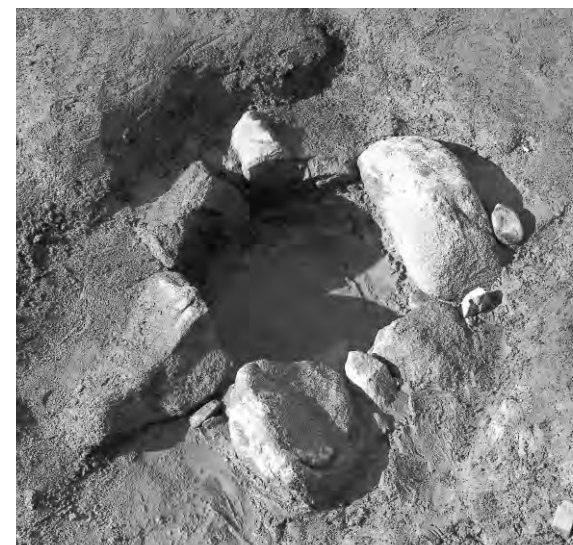
3 中世の井戸
SE230
東から



1 SE233
北から



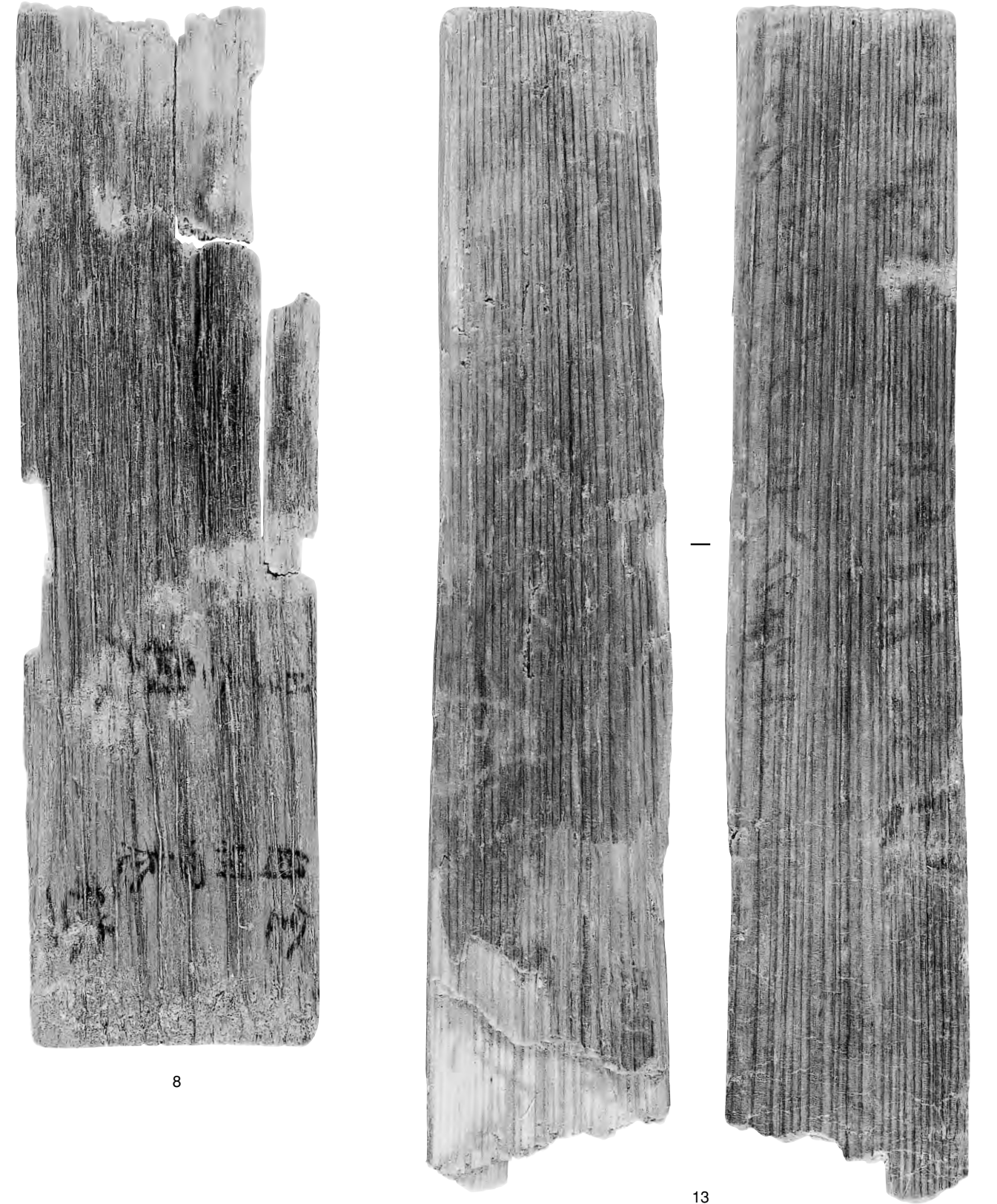
2 SE480
東から



3 SE231 南から

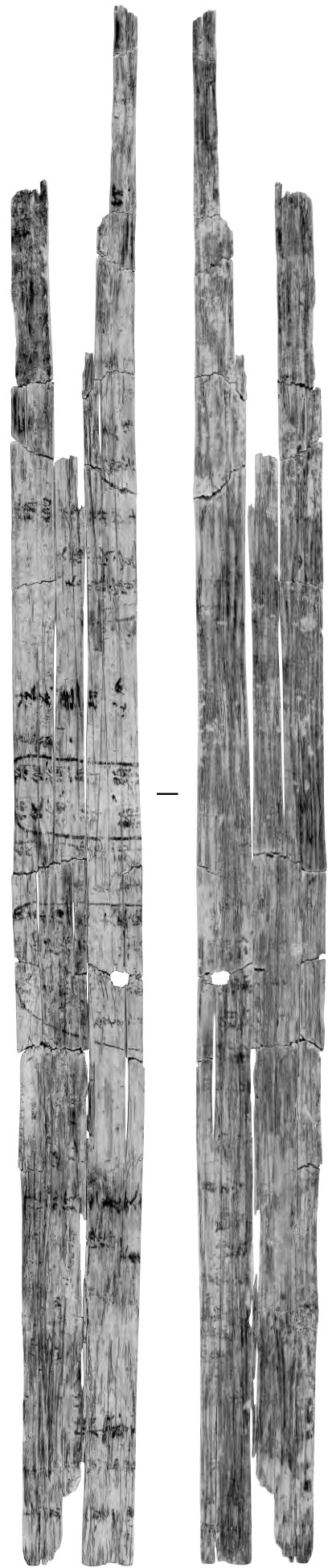


4 SE432 南から



1 第4次調査包含層出土 2 SD531出土 3~7 SD619出土 9 SD664B出土 14 SB660B上出土
1:1

8 SD664B出土 13 SB660B上出土
1:1



11



10



10表
(凍結乾燥処理後)



2:3

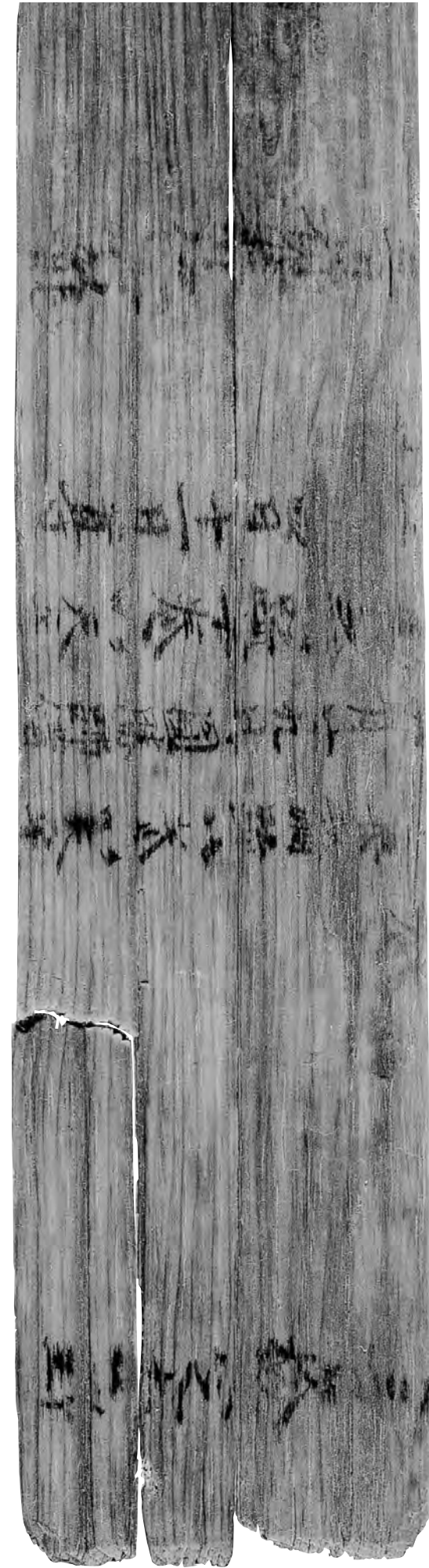
10・11 SD664B出土(凍結乾燥処理後)
10 3:10 11 2:9



2:3



11裏(凍結乾燥処理後)



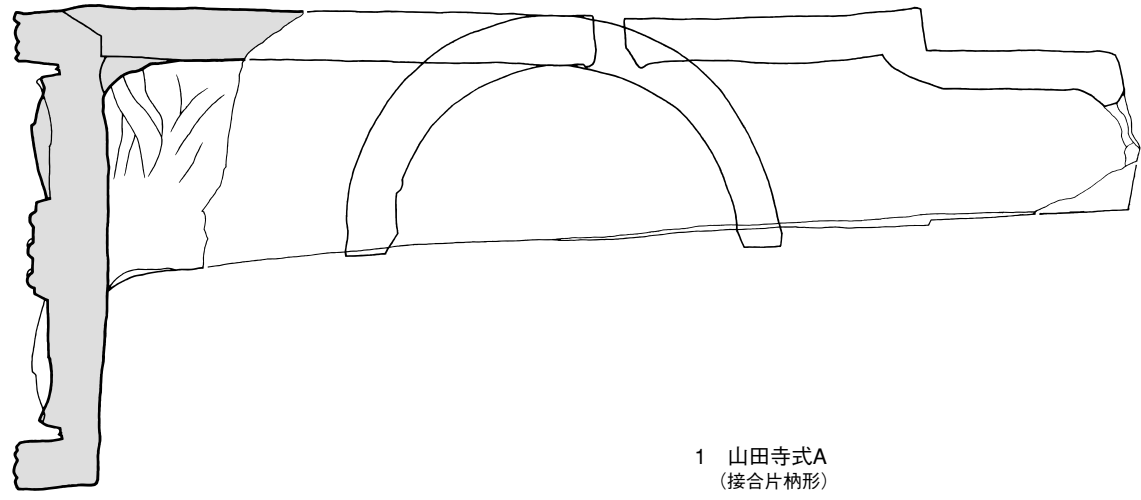
12表(部分)



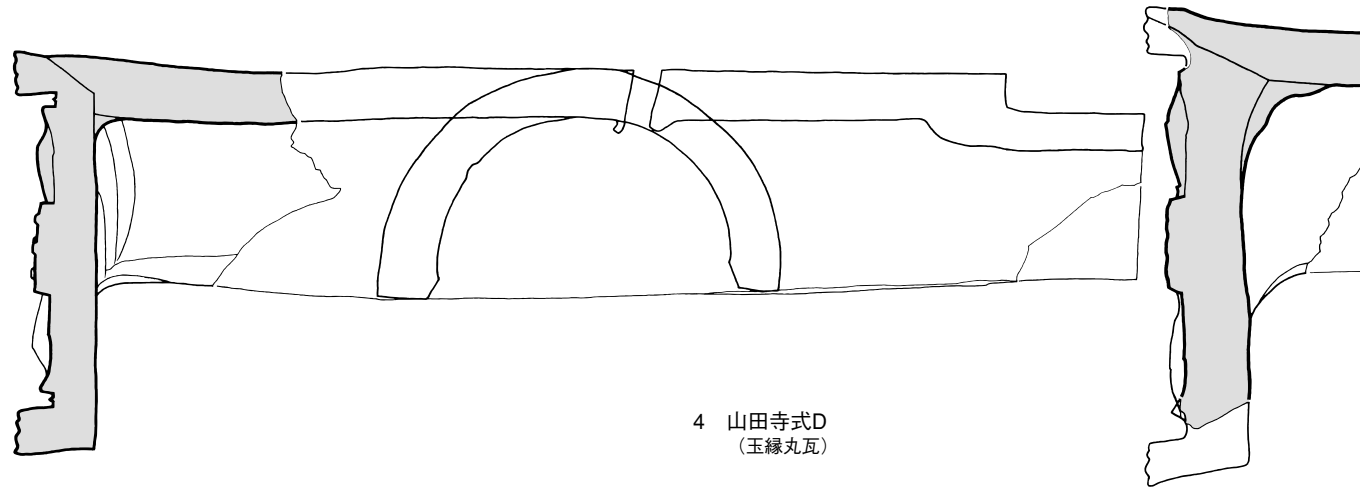
12

12 SD664B出土
右 1:2 左 1:1

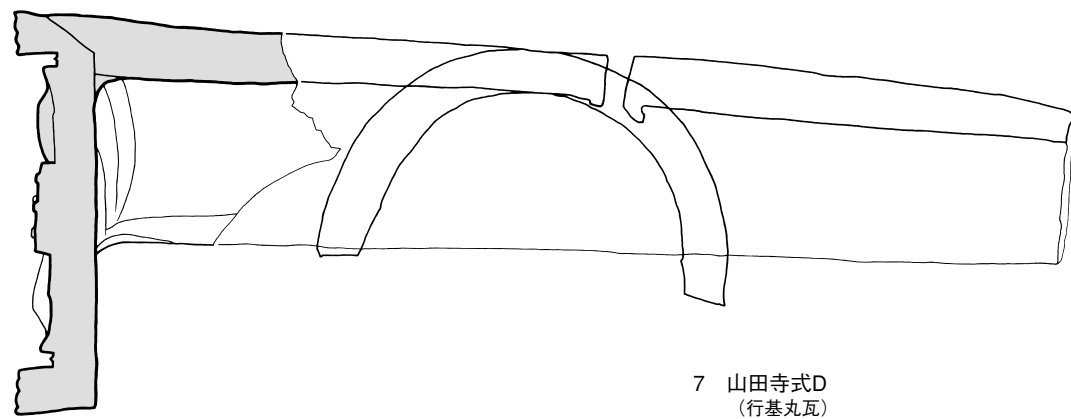




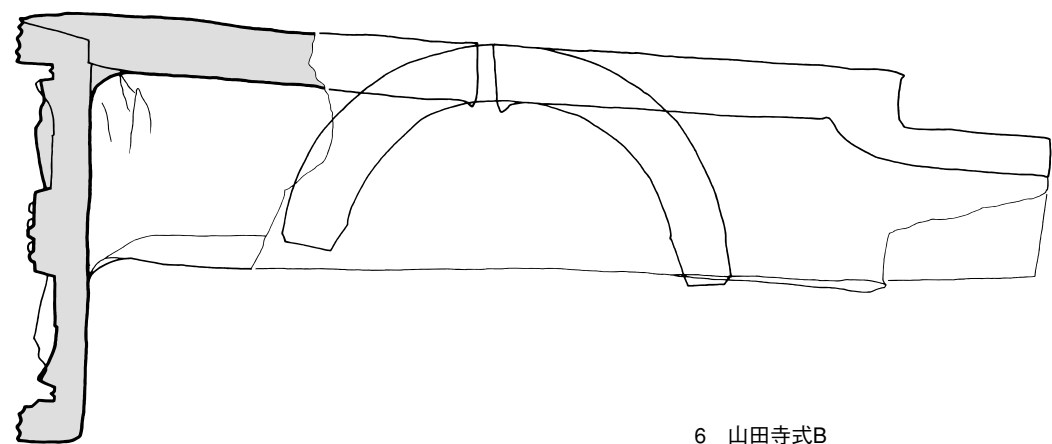
1 山田寺式A
(接合片柄形)



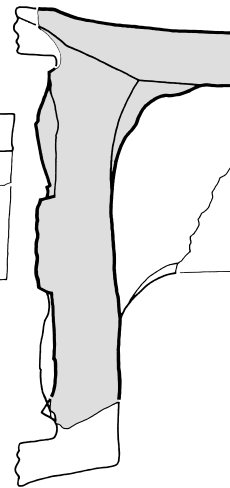
4 山田寺式D
(玉縁丸瓦)



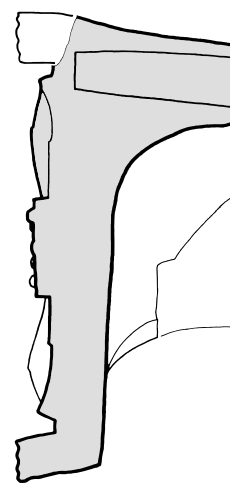
7 山田寺式D
(行基丸瓦)



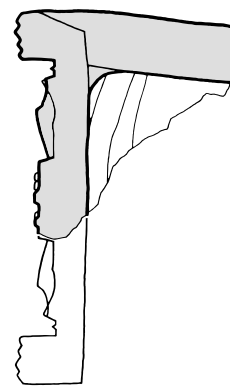
6 山田寺式B



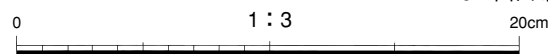
2 山田寺式A
(接合楔形)



3 山田寺式A
(接合未加工)



5 山田寺式E



1 山田寺式A
(接合片柄形)



2 山田寺式A
(接合楔形)



4 山田寺式D



3 山田寺式A
(接合未加工)



5 山田寺式E



6 山田寺式B



1 A種：糸切り痕、范端を示す段。 2 瓦当粘土の重なり。 3 瓦当側面を指押さえ。



4 瓦当側面を指押さえ。 5 瓦当裏面上端に片柄形加工I型の丸瓦を立て、支持ナデツケする。



6 片柄形加工I型の丸瓦を接合。 7 丸瓦広端面の縦キザミ。 8 丸瓦接合面縦キザミの転写。 9 丸瓦接合面横キザミの転写。



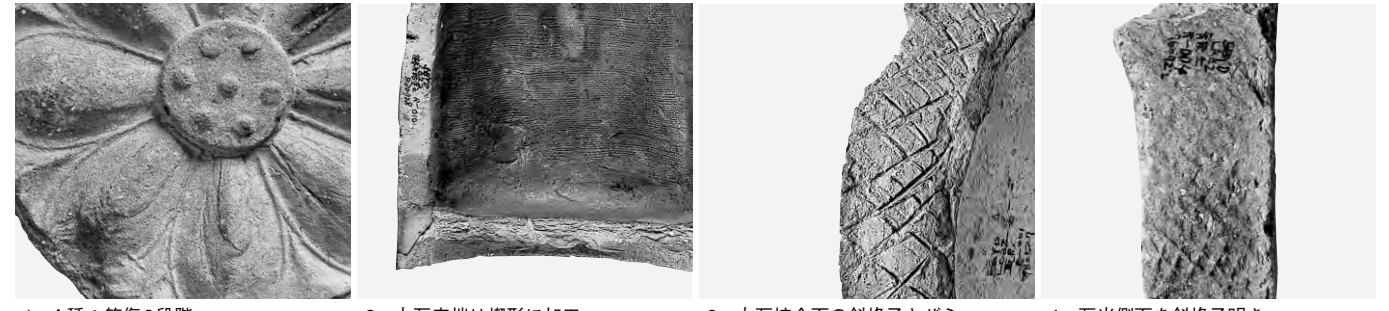
10 丸瓦接合面斜めキザミの転写。 14 丸瓦部凸面を平行叩き。 15 丸瓦部凸面を斜格子叩き。



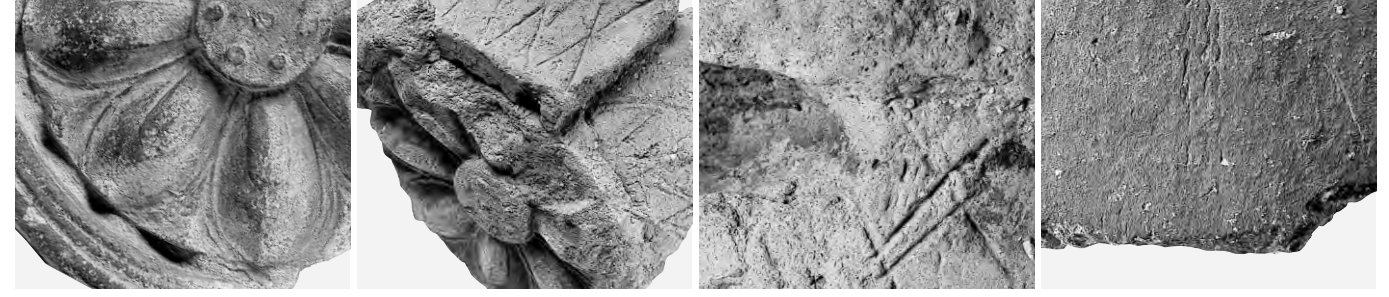
11 丸瓦接合面斜格子キザミの転写。 12 釘穴をあけた玉縁丸瓦。 13 同左凹面。 14 丸瓦部凸面を平行叩き。 15 丸瓦部凸面を斜格子叩き。



16 范傷1A段階。 17 丸瓦広端は片柄形II型に加工。 18 范傷1B段階。 19 丸瓦広端は楔形に加工。



1 A種：范傷2段階。 2 丸瓦広端は楔形に加工。 3 丸瓦接合面の斜格子キザミ。 4 瓦当側面を斜格子叩き。



5 范傷3段階。 6 丸瓦未加工、凹凸面斜格子キザミ。 7 丸瓦部凸面縦位縄叩きとキザミ。 8 丸瓦部凸面を縦位縄叩き。



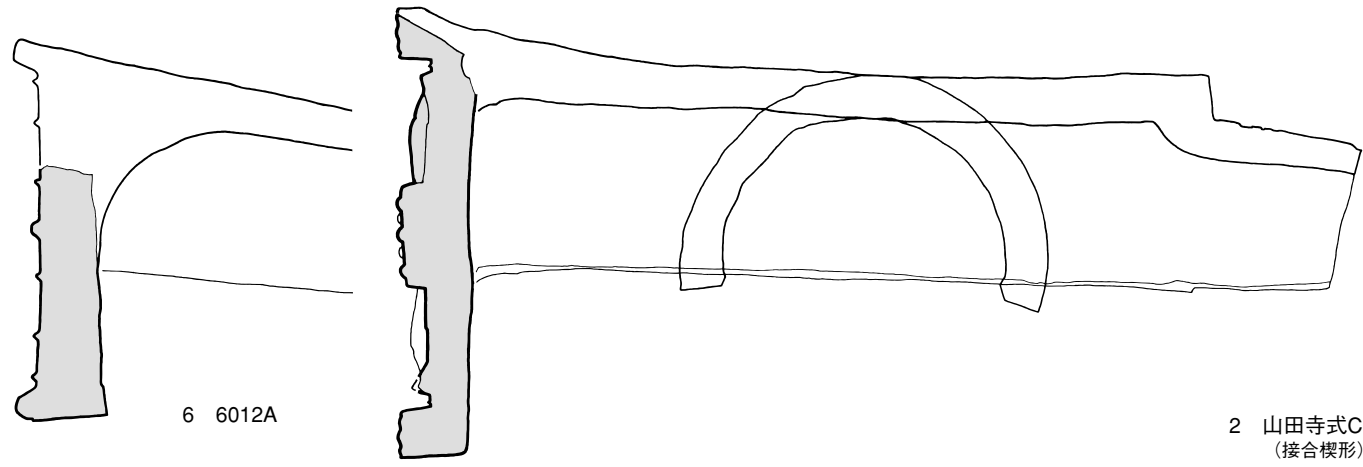
9 D種：范傷発生前。 10 范傷1A段階。 11 范傷1B段階。 12 糸切り痕、范端を示す段。



13 瓦当側面を指押さえ。 14 瓦当裏面は回転ナデ。 15 瓦当裏面は回転ナデ。 16 瓦当裏面は回転ナデ。

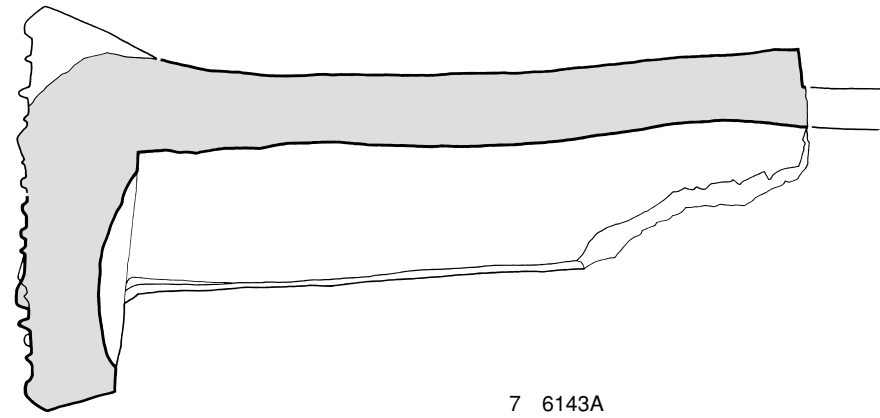


17 釘穴をあけた玉縁丸瓦。 18 同左凹面、粘土板合わせ目。 19 釘穴をあけた行基丸瓦。 20 同左凹面、布織じ痕。



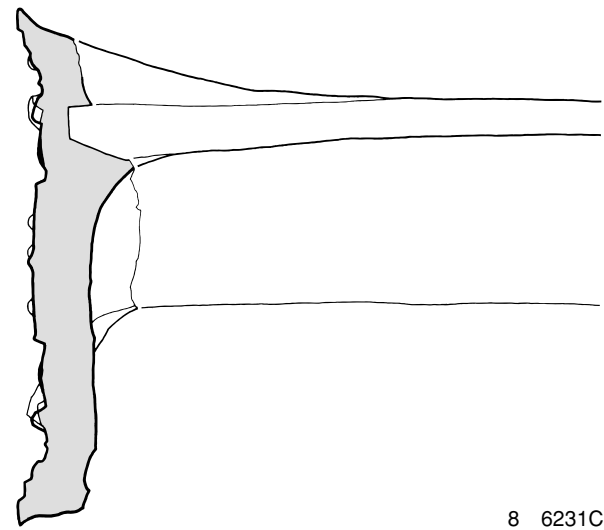
6 6012A

2 山田寺式C
(接合楔形)

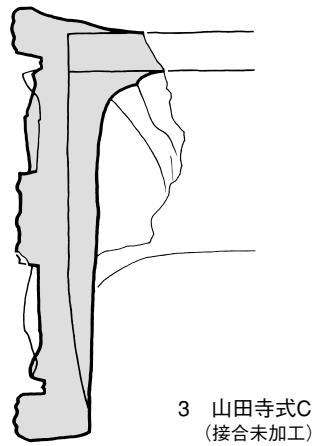


7 6143A

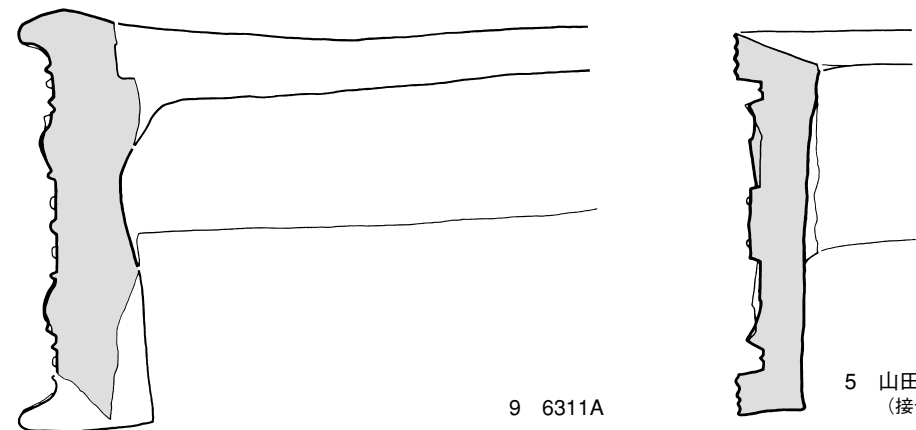
1 山田寺式C
(接合片柄形)



8 6231C

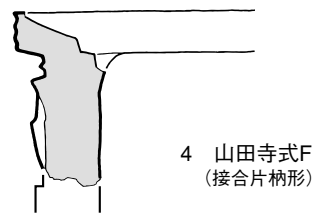


3 山田寺式C
(接合未加工)

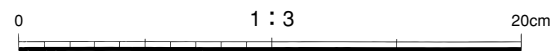


9 6311A

5 山田寺式F
(接合楔形)



4 山田寺式F
(接合片柄形)



1 山田寺式C
(接合片柄形)



6 6012A



2 山田寺式C
(接合楔形)



7 6143A



3 山田寺式C
(接合未加工)



8 6231C



4 山田寺式F
(接合片柄形)



5 山田寺式F
(接合楔形)



9 6311A



1 D種: 片柄形I型の丸瓦を接合。 2 丸瓦を立て、支持ナデツケ。 3 丸瓦接合面の縦キザミ。 4 丸瓦先端は瓦当裏面にくい込む。



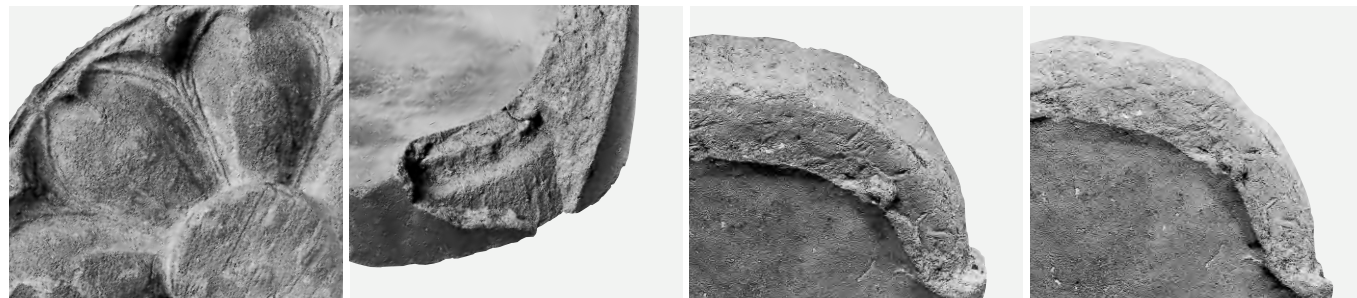
5 丸瓦凹面にもキザミをつける。 6 瓦当裏面を平坦に乱ナデする。 7 E種: 范端痕を示す段。 8 片柄形II型の丸瓦を接合。



9 B種: 片柄形II型の丸瓦先端は外縁に達する。接合面には縦キザミ。 11 糸切り痕、范端痕を示す段。 12 丸瓦部凸面を斜格子叩き。



10 片柄形加工II型のb面が幅広いのが特徴。瓦当裏面は平坦に乱ナデする。 13 釘穴をあけた玉縁丸瓦。 14 同左凹面。



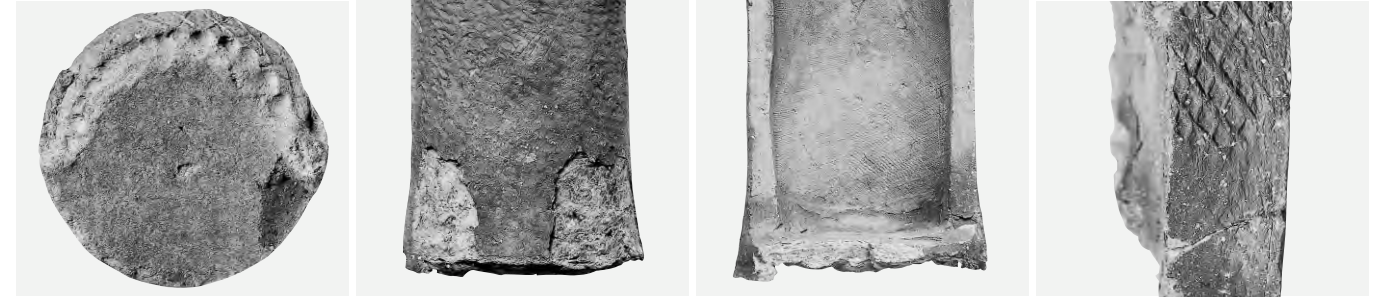
15 C種: 瓦当面糸切り痕。 16 范傷なし段階に片柄形II型あり。 17 片柄形の丸瓦先端は外縁に達する。 18 片柄形II型のb面が幅広い。



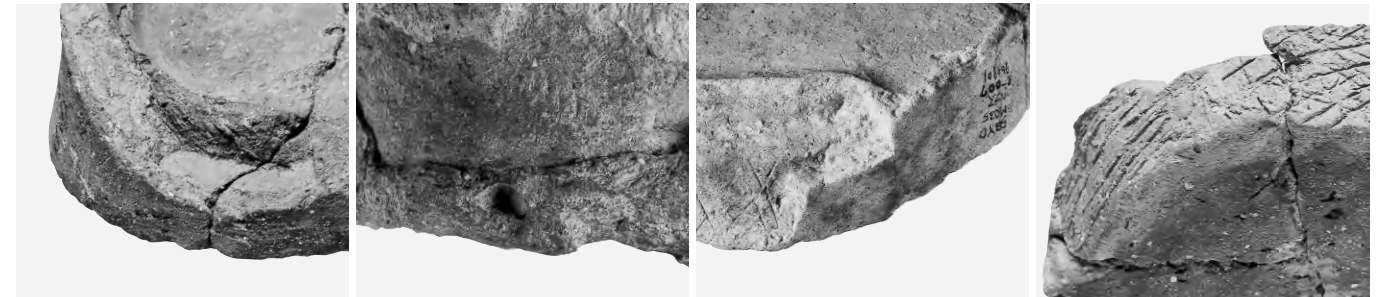
1 C種: 范傷発生前。 2 広端楔形、凹凸両面に接合粘土。 3 丸瓦広端面にキザミ。 4 同左(瓦当裏面側から)。



5 范傷発生。 6 丸瓦を立て、支持指押さえ。 7 丸瓦部凸面全体を斜格子叩き。 8 同左凹面。 9 丸瓦部凸面を斜格子叩き。



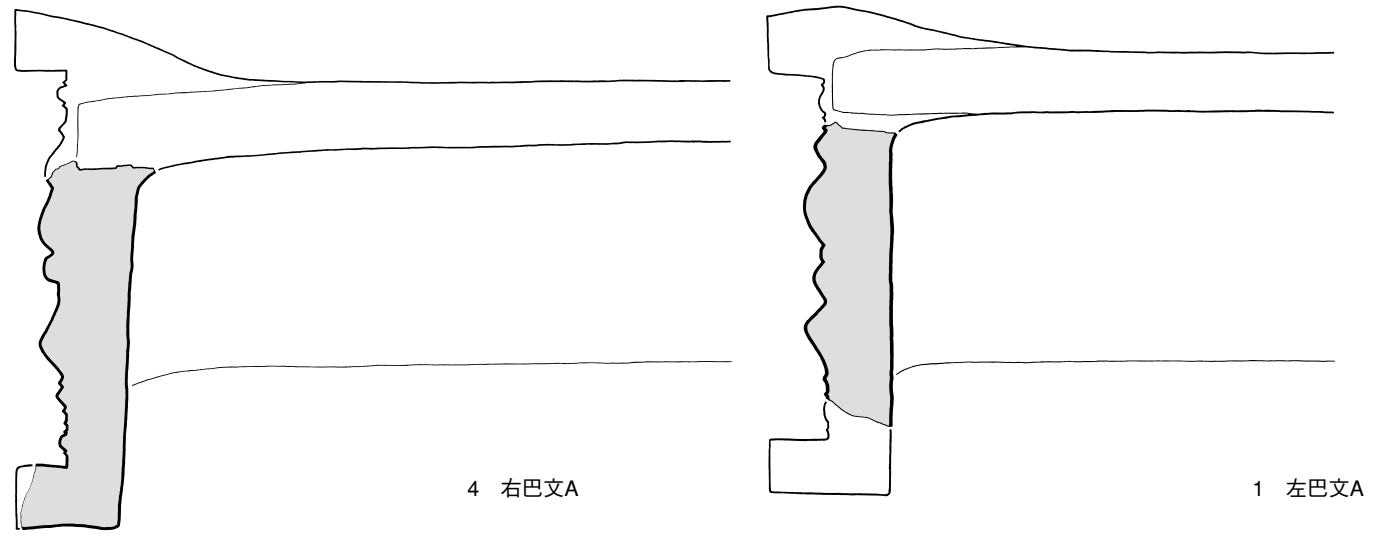
10 瓦当側面を斜格子叩き。 11 先端未加工、凹凸両面に接合粘土。 12 丸瓦部凸面をタテ縄叩き。 13 F種: 丸瓦広端は片柄形II型。 14 丸瓦接合面に斜格子キザミ。



15 丸瓦接合部斜格子キザミの転写。 16 丸瓦を立て、支持指押さえ。 17 瓦当裏面・側面を斜格子叩き。 18 瓦当側面を斜格子叩き。

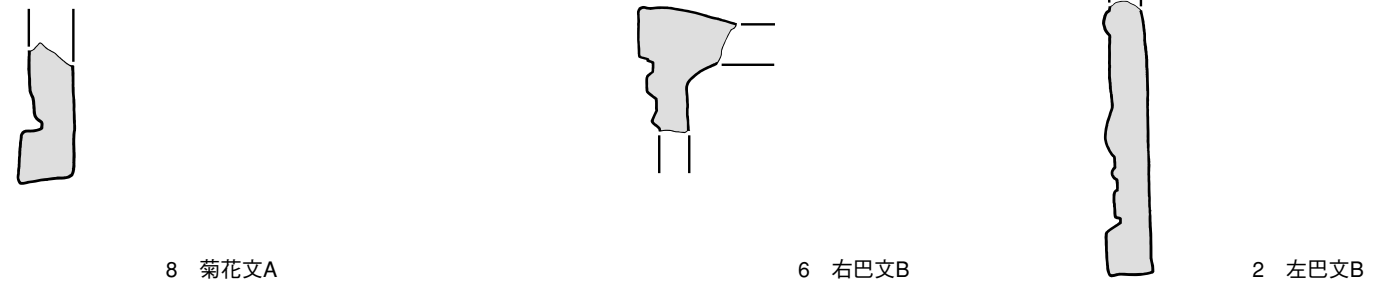


19 6012A: 瓦当裏面の布目押圧痕。 20 6143A: 瓦当裏面中央がくぼむ。 21 6231C: 瓦当裏面下半周縁をナデ。 22 6311A: 瓦当裏面には丸瓦接合溝。



4 右巴文A

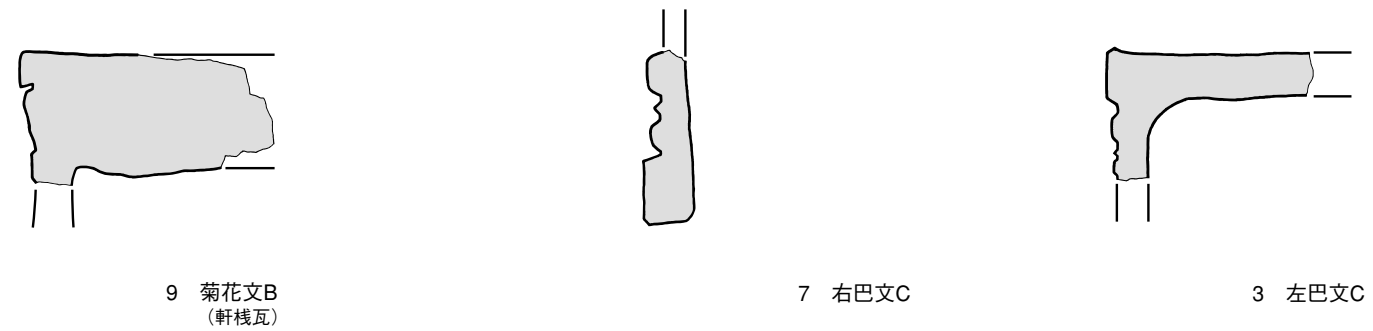
1 左巴文A



8 菊花文A

6 右巴文B

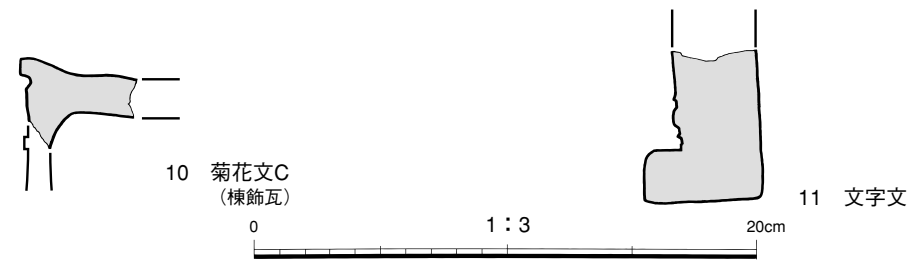
2 左巴文B



9 菊花文B
(軒棧瓦)

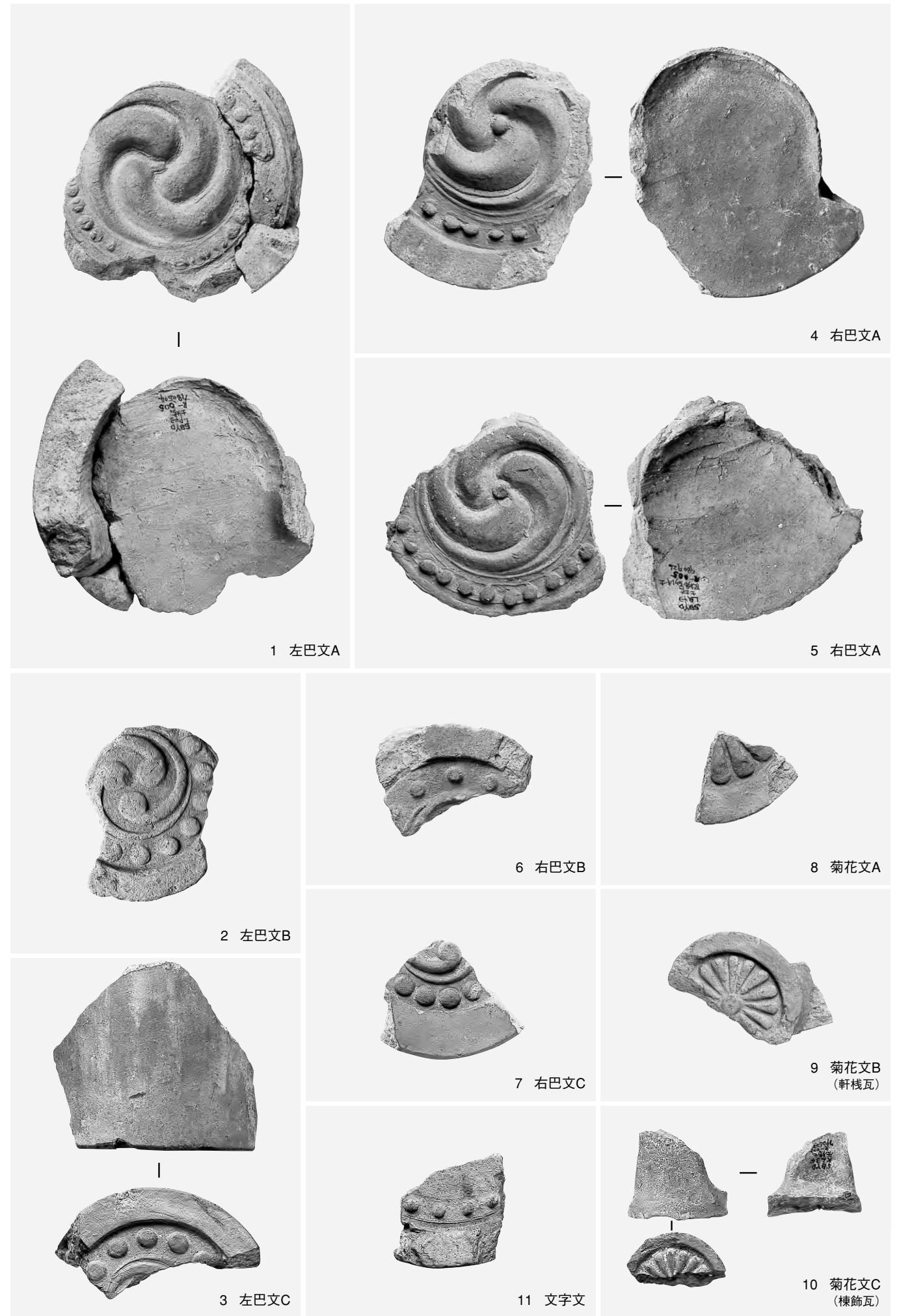
7 右巴文C

3 左巴文C



10 菊花文C
(棟飾瓦)

11 文字文



4 右巴文A

1 左巴文A

5 右巴文A

2 左巴文B

6 右巴文B

8 菊花文A

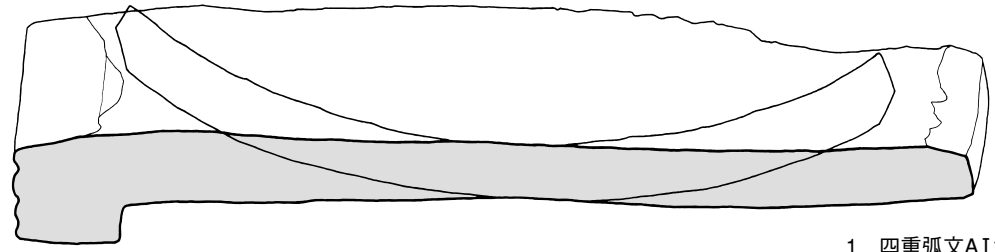
7 右巴文C

9 菊花文B
(軒棧瓦)

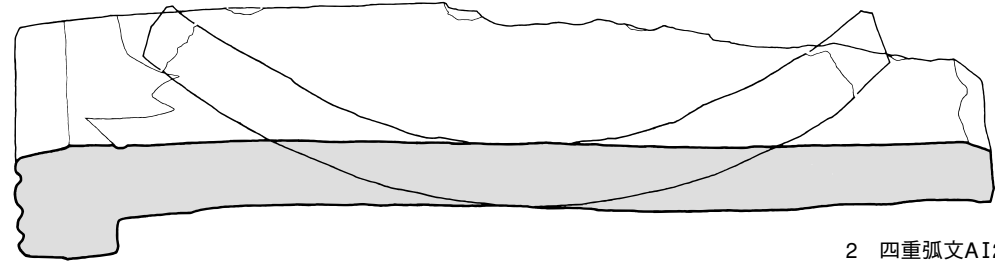
3 左巴文C

11 文字文

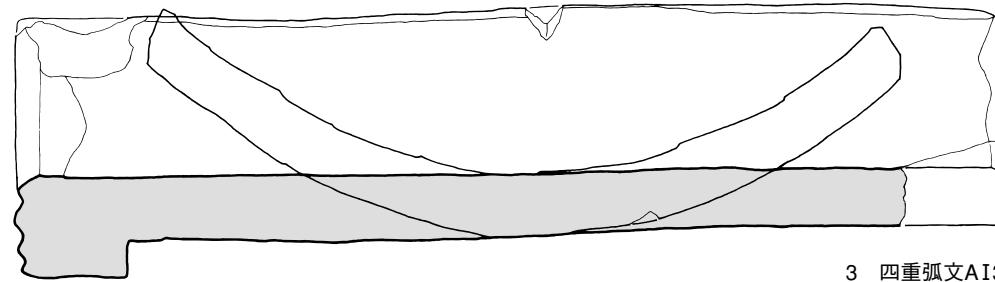
10 菊花文C
(棟飾瓦)



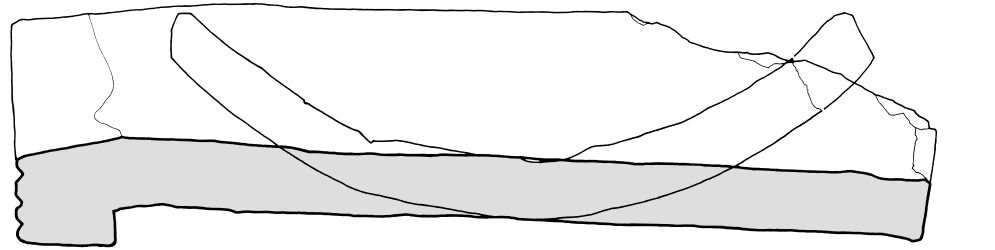
1 四重弧文A I 1



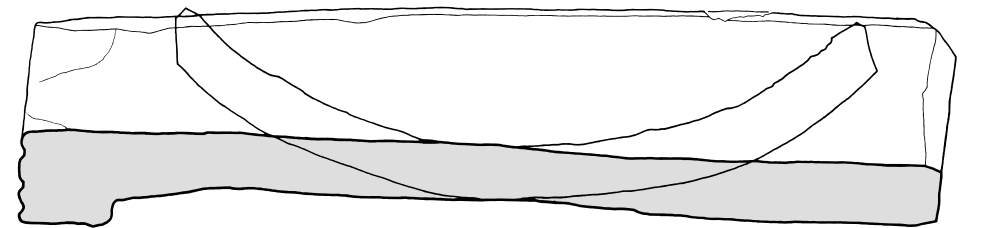
2 四重弧文A I 2



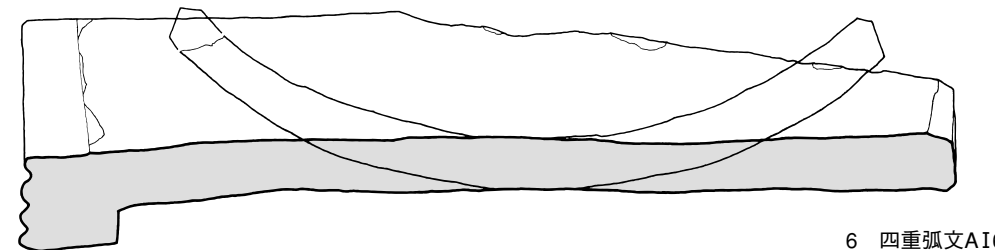
3 四重弧文A I 3



4 四重弧文A I 4



5 四重弧文A I 5



6 四重弧文A I 6

0 1:3 20cm



1 四重弧文A I 1



2 四重弧文A I 2



3 四重弧文A I 3



4 四重弧文A I 4

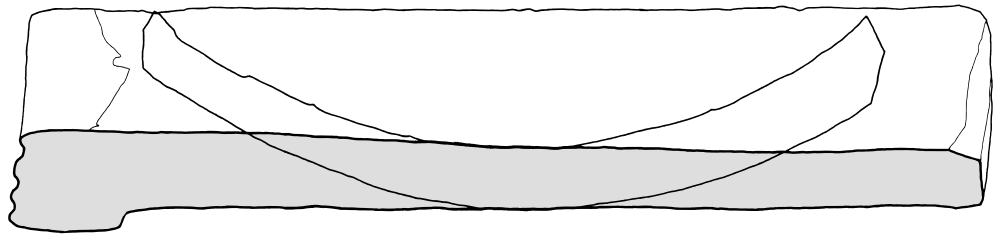


5 四重弧文A I 5

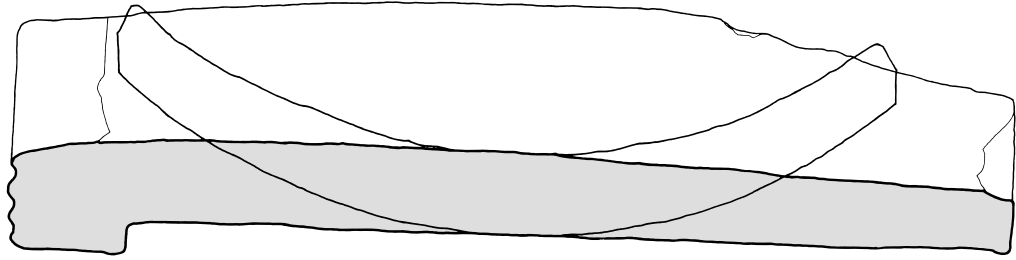


6 四重弧文A I 6

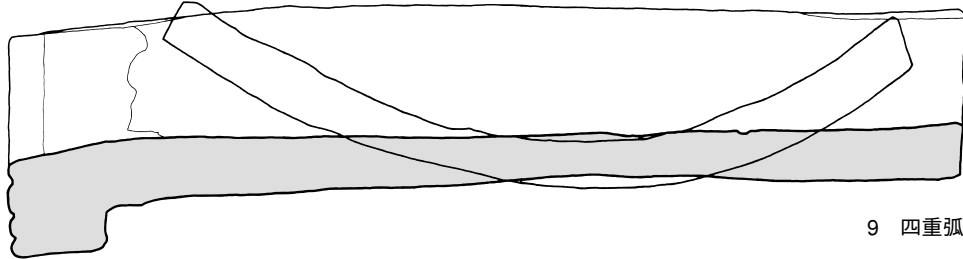
1:3



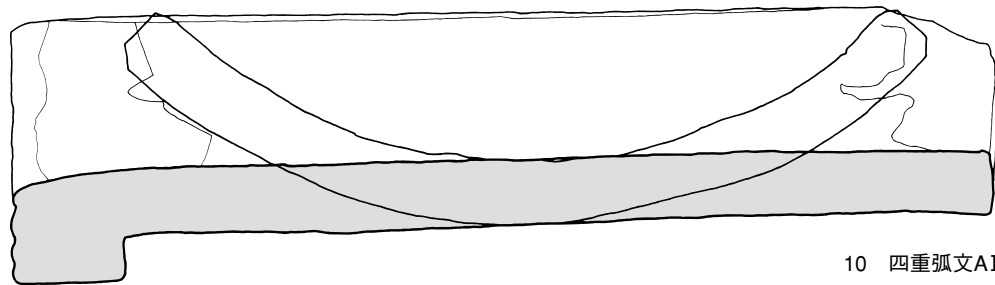
7 四重弧文AI7



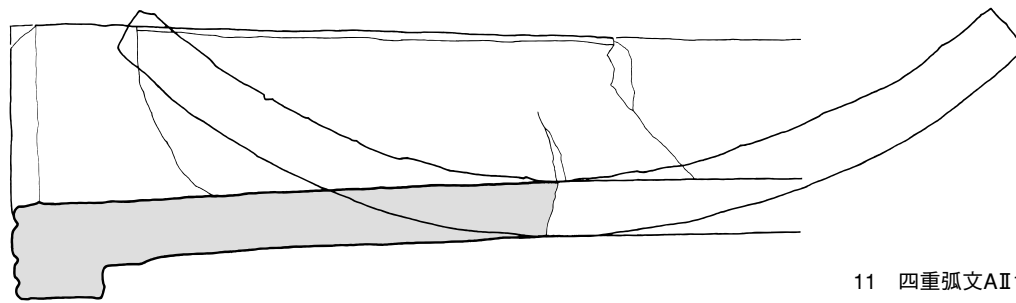
8 四重弧文AI8



9 四重弧文AI9



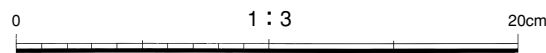
10 四重弧文AI10



11 四重弧文AII1



12 四重弧文AII2



7 四重弧文AI7



8 四重弧文AI8



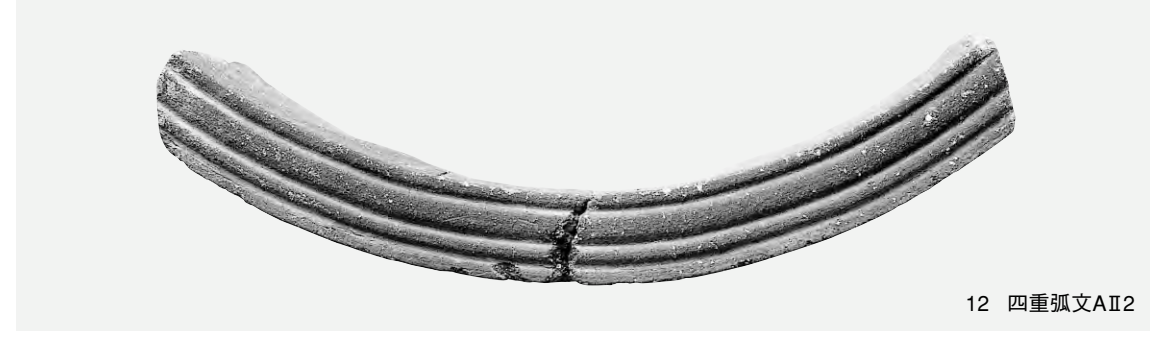
9 四重弧文AI9



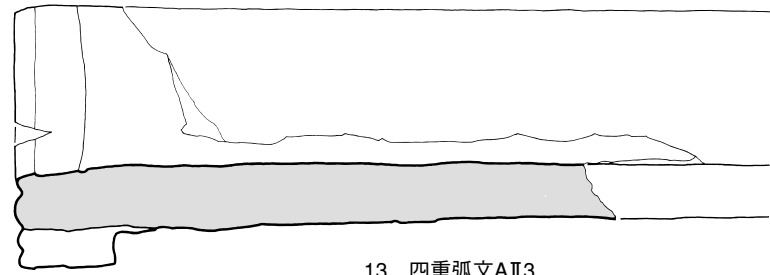
10 四重弧文AI10



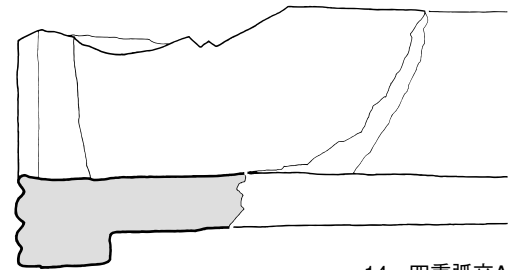
11 四重弧文AII1



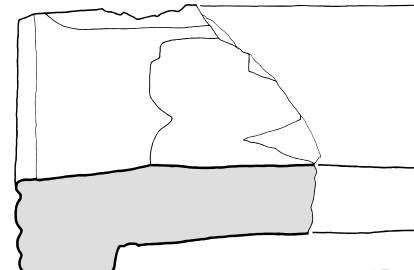
12 四重弧文AII2



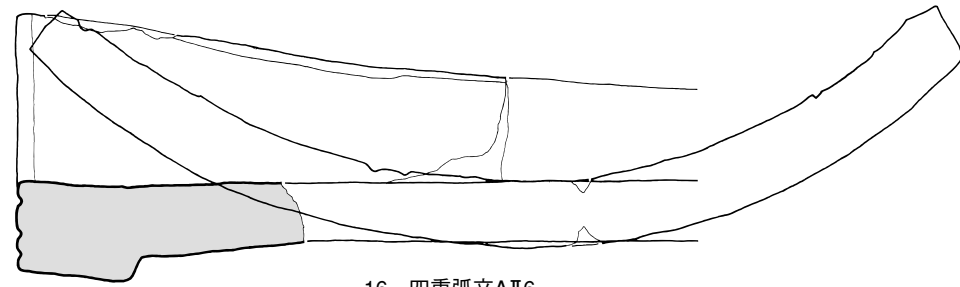
13 四重弧文AⅡ3



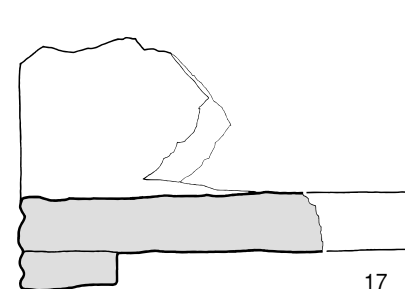
14 四重弧文AⅡ4



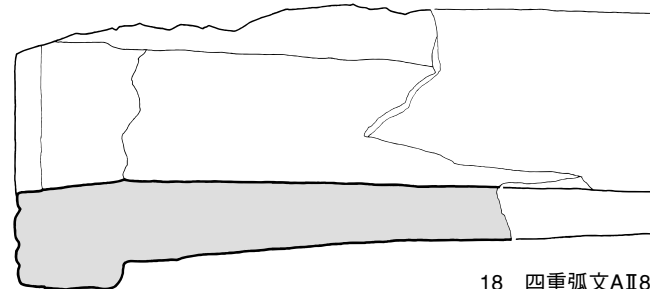
15 四重弧文AⅡ5



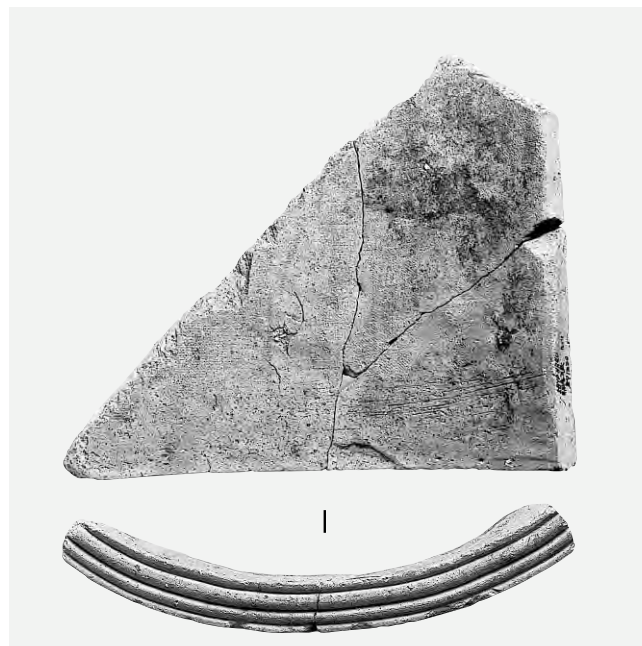
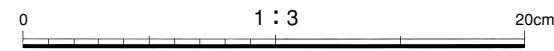
16 四重弧文AⅡ6



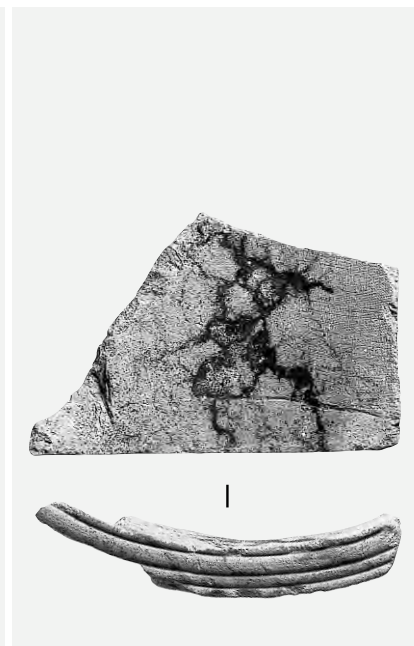
17 四重弧文AⅡ7



18 四重弧文AⅡ8



1 平瓦部を打ち欠いて作った隅軒平瓦 (AⅡ4)。 1:3 (1・2は1:6)



2 同左 (AⅡ3)。



13 四重弧文AⅡ3



14 四重弧文AⅡ4



15 四重弧文AⅡ5



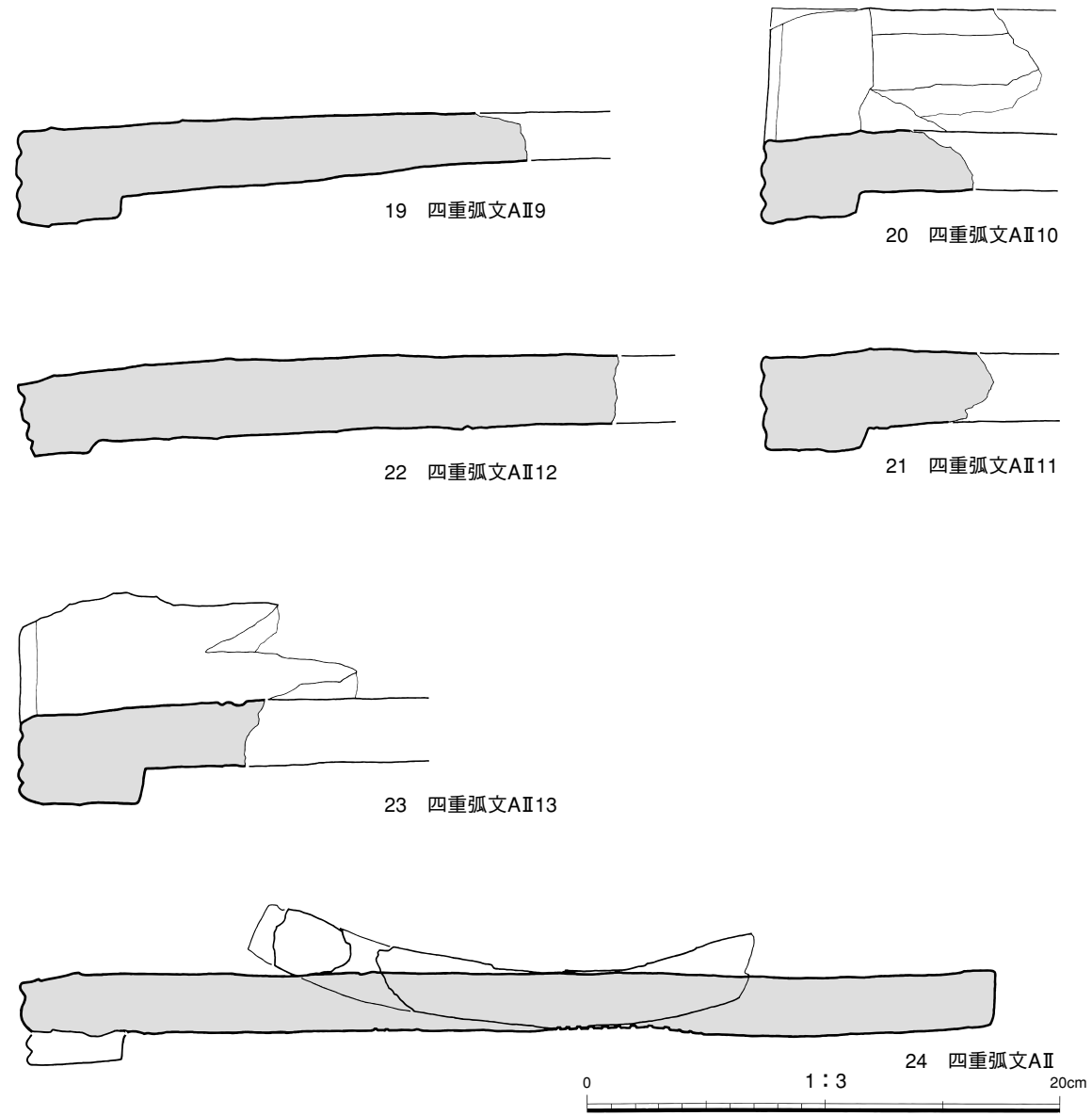
16 四重弧文AⅡ6



17 四重弧文AⅡ7



18 四重弧文AⅡ8



19 四重弧文AII9

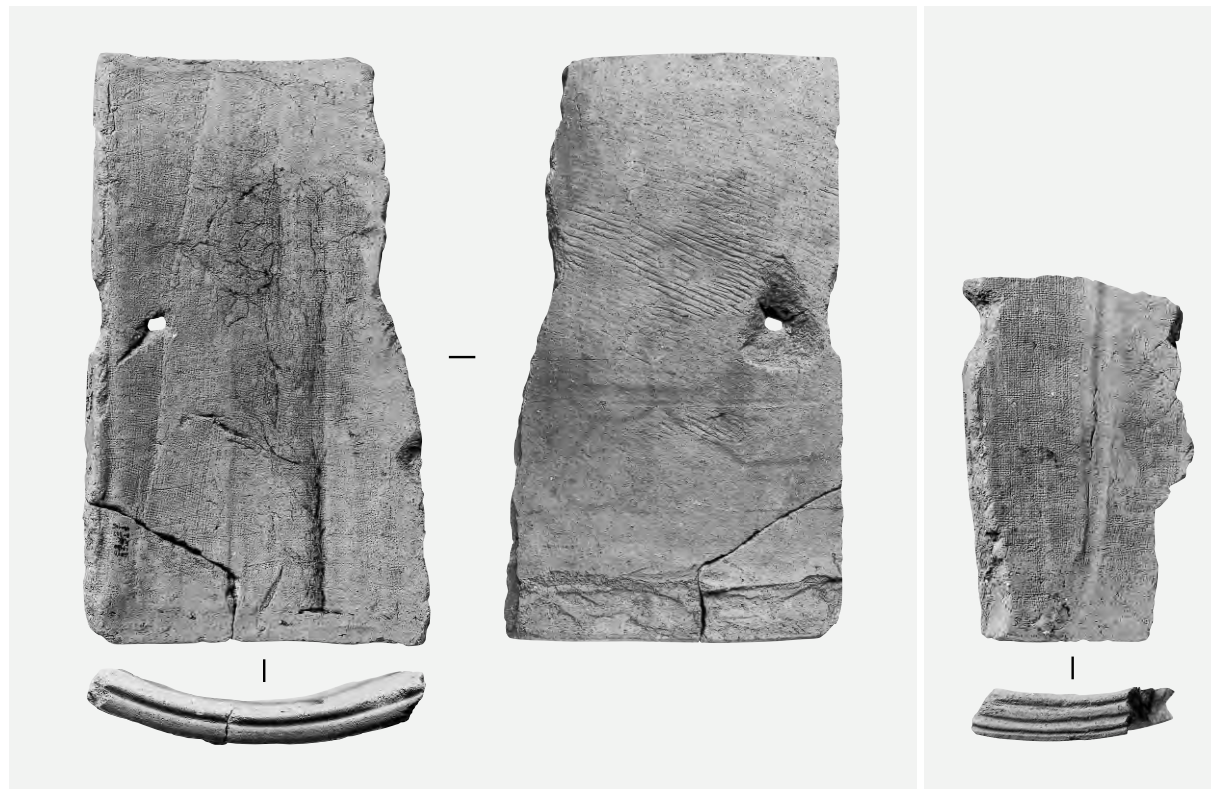
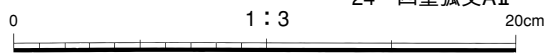
20 四重弧文AII10

22 四重弧文AII12

21 四重弧文AII11

23 四重弧文AII13

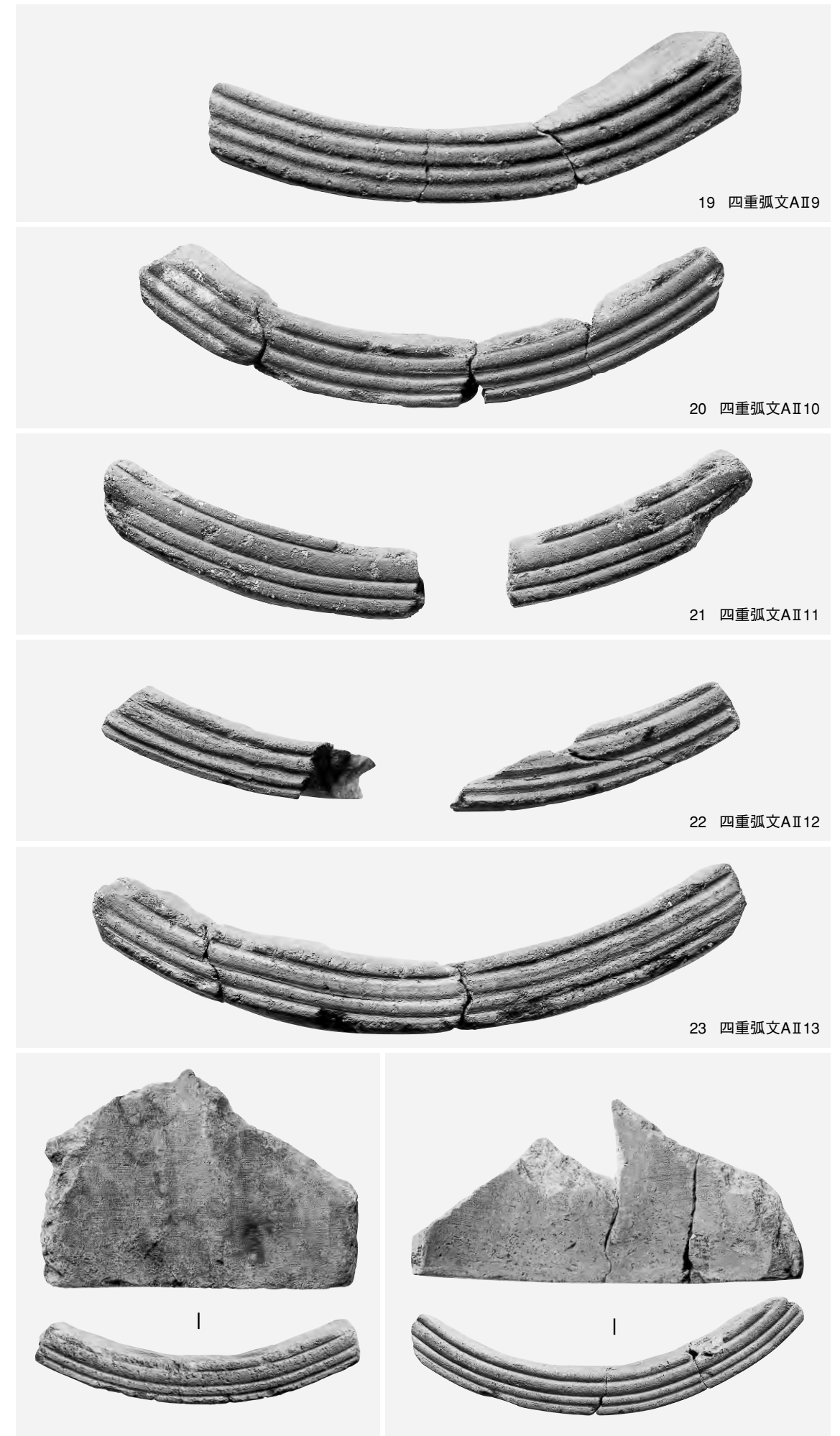
24 四重弧文AII



1 左側辺の中央を削り欠き、その脇を穿孔した特殊品。使用法不明 (AII)。

1:3 (1・2は1:6)

2 側辺に挟り (AII12)。



19 四重弧文AII9

20 四重弧文AII10

21 四重弧文AII11

22 四重弧文AII12

23 四重弧文AII13

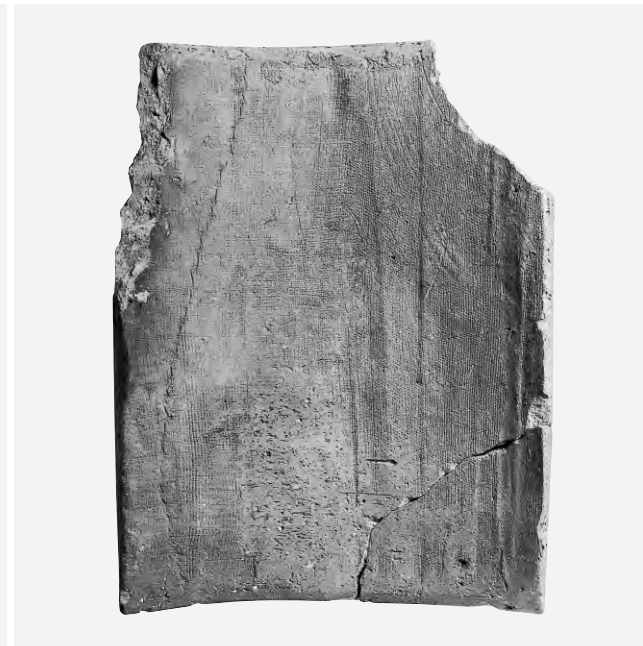
1 平瓦部を打ち欠いた隅軒平瓦 (AII5)。

2 同左 (AII6)。

1:3 (1・2は1:6)



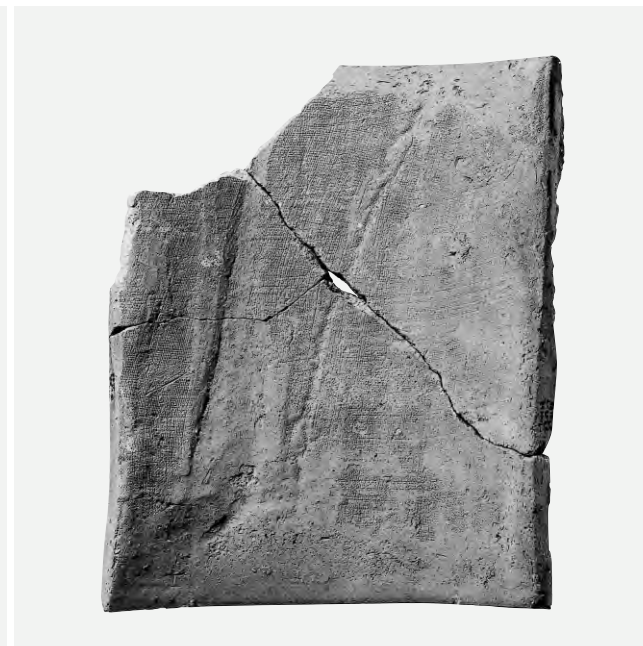
1 布a1の布綴り合わせ目(左)と縫い目(右)。側板痕1 (AI1)。



2 布a1の縫い目。綴り合わせ目がみえない。側板痕1 (AI2)。



3 布a2の綴り合わせ目と縫い目。側板痕1 (AI2)。



4 布cの布綴り合わせ目(左)と縫い目(右)。側板痕3 (AI10)。



5 布bの綴り合わせ目(右)と縫い目(左)。側板痕1 (AI4)。

1:6



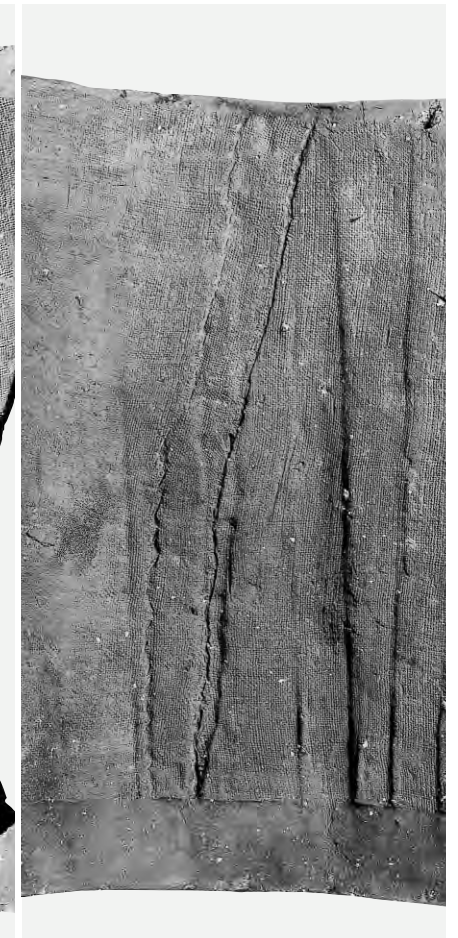
6 右側辺に現れた布bの布綴り痕跡。側板痕2 (AI5)。



1 布a1は縫い目1条。



2 布a2は縫い目2条。右の縫い目一致。



3 布b (AI4)。



4 顎剥離面。キザミ目や叩き目はない (AI10)。



5 顎接合粘土に残る布圧痕 (AI1)。



6 叩き締め円弧を描く平行叩き目 (AI1)。



7 平行叩き目と斜格子叩き目の共存 (AI7)。

6・7 1:6



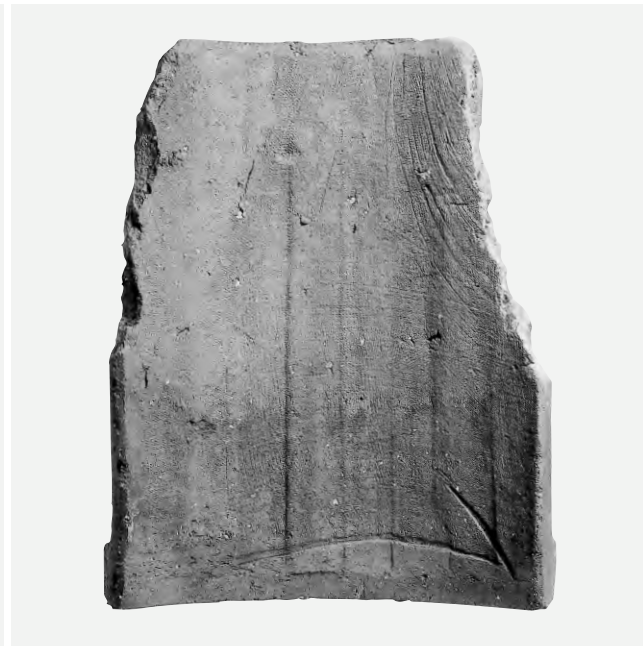
1 側板痕1 (A17)。



2 側板痕2 (A17)。



3 側板痕3 (A15)。



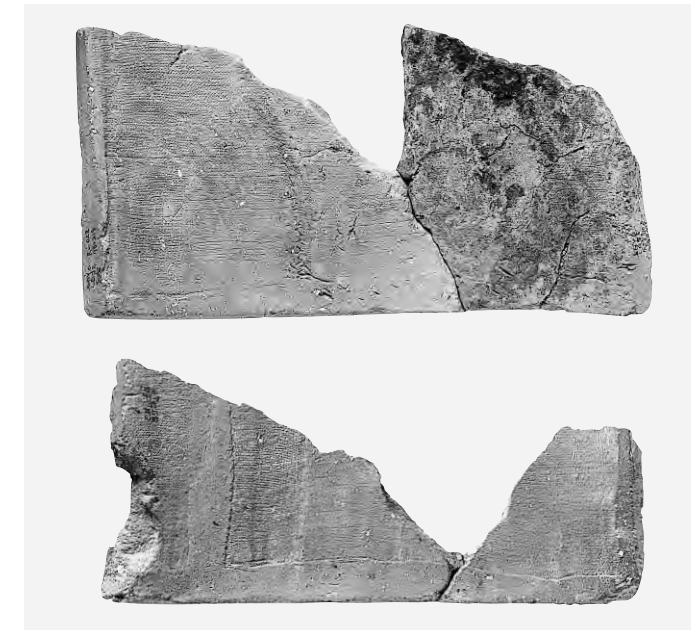
4 側板痕4 (A12)。



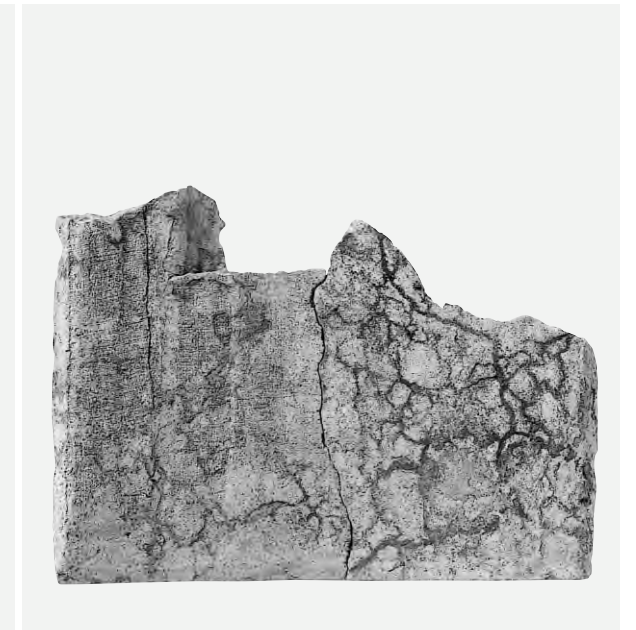
5 平瓦に転用され、広・狭端両側に風蝕をもつ例 (A15)。
1:6



6 焼成後に打ち欠いて作られた隅軒平瓦 (A12)。



1 AIIの布綴じ痕跡2種 (上AII6、下AII4)。



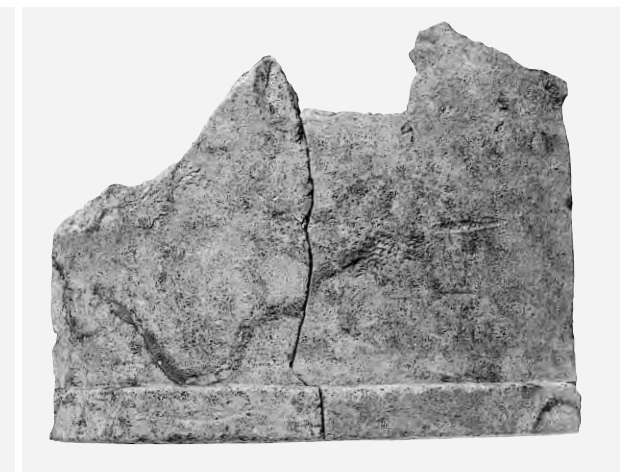
2 1下と同じ布綴じ。粘土合わせ目の位置ほぼ一致 (AII1)。



3 2種の布綴じ痕跡の比較。



4 顎剥離面の平行叩き目 (AII8)。



5 平行叩き目 (AII6)。



6 凸面格子叩き目 (AII1)。